

Mederu



令和4年7月17日(日)／坐摩神社

新型コロナウイルス感染症が蔓延して以来、約2年半ぶりにお茶会を開催しました。薄茶二服の一席でしたが、久々の茶会開催の上、感染防止策としてお席を時間制にし、席中の間隔を十分にとるなど、初めての試みがありました。さまざまな不安がある中、会員一人一人が協力し合う事でお客様に楽しんで頂ける事ができました。



『涼月』の通り、酷暑の中、少しでも涼しさを感じていただけるように席札を”団扇”にしたり、お菓子の”花火”は黒ではなく敢えて白にし、更に水のお阪らしく”清流”と”沢瀉”にするなど、こだわりました。



待合では、新型コロナウイルス感染症の収束を願い、疫病封じの『アマビエ』の絵馬にお客様にも願いを書いて頂き、飾りました。

このような状況下にも関わらず、快く会場をお貸しくださった坐摩神社さまのご協力の下、無事盛会に終了する事が出来ました。

